

HUS4-MAX

2成分製品の安全性情報

作成日: 22/06/2022

改訂日: 22/06/2022

バージョン: 1.0

第1項: キットID

1.1 製品特定名

製品名 HUS4-MAX



製品コード BU Anchor

1.2 キット安全情報シートの供給者の詳細

日本ヒルティ株式会社
神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南2-6-20
〒224-8550 〒 - 日本
T +81 45 943 6211 - F +81 45 943 6418
hiltijapan@hilti.com

第2項: 一般的情報

使用上の制限 業務用用途に限る。
保管 保管温度: -20 - +25 °C

これらの各コンポーネントにつき安全データシート1枚が付属しています。この表紙ページからコンポーネント安全データシートを切り離さないでください

本製品は適切な試験手順に従って取り扱い、適切な保護具を使用してください

第3項: キット内容

製品分類

GHS分類
物理的危険性 有機過酸化物 タイプF
健康有害性 急性毒性(経口) 区分4
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A
皮膚感作性 区分1

HUS4-MAX

2成分製品の安全性情報

環境有害性

水生環境有害性 短期（急性） 区分1

水生環境有害性 長期（慢性） 区分1

ラベル要素

国連GHSに準ずる分類

絵表示 (GHS JP)



GHS02

GHS07

GHS09

注意喚起語 (GHS JP)

警告

有害成分

2-メチル-2-プロペン酸・1,2-プロパンジオールのモノエステル (A);
ジメタクリル酸 = 1, 4 -ブタンジイル (A); 4-tert-ブチルピロカテコール (A);
過酸化ジベンゾイル (B)

危険有害性 (GHS JP)

H242 - 熱すると火災のおそれ。
H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H319 - 強い眼刺激。
H410 - 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き (GHS JP)

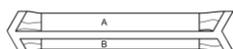
P210 - 熱, 高温のもののような着火源, 裸火, 火花 から遠ざけること。 - 禁煙。
P280 - 保護眼鏡, 保護衣, 保護手袋 を着用すること。
P262 - 眼、皮膚、衣類につけないこと。
P305+P351+P338 -
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P302+P352 - 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P337+P313 - 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P333+P313 -
皮膚刺激または発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

追加情報

フォイルカプセルの内容：

コンポーネントA：ウレタンメタクリレート樹脂

コンポーネントB：ジベンゾイルペルオキシド、鈍化済み



HUS4-MAX

2成分製品の安全性情報

名前	概要	量	ユニット	GHS分類
HUS4-MAX, A		1	pcs (pcs)	Acute Tox. 4 (Oral), H302 Skin Sens. 1, H317
HUS4-MAX, B		1	pcs (pcs)	Org. Perox. F, H242 Eye Irrit. 2, H319 Skin Sens. 1, H317 Aquatic Acute 1, H400 Aquatic Chronic 1, H410

第4項: 一般的助言

一般的助言

専門技術者の使用のみ

第5項: 取扱いの指針

一般的措置

漏出物質により滑る危険がある。

環境に対する注意事項

下水道や公共用水域への侵入を防いで下さい。
液体が下水道や公共用水域に流入した場合、行政に通知して下さい。

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
次のものとの接触を避ける：空気
有効期限を点検する：ご購入時の梱包（梱包用小箱）およびカプセルに記載されている有効期限を点検してください。有効期限が経過した製品は使用しないでください。
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。

安全取扱注意事項

個人用保護具を着用して下さい。
皮膚、眼との接触を避けて下さい。
粉じん, 蒸気 の吸入を避けること。
飲食前、喫煙前、または作業終了後は、手および汚染箇所を低刺激性石鹼と水で洗浄する作業エリアでは十分な換気を行い蒸気の発生を予防して下さい。
静電気の発生を防止する。
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。

浄化方法

可能であればリスクなく漏出をせき止める。
火花の出ない工具を使用する。
Absorb and/or contain spill with inert material, then place in suitable container.
本物質およびその容器は各自自治体の規定に準拠して安全に廃棄して下さい。

封じ込め方法

漏出物を回収すること。

HUS4-MAX

2成分製品の安全性情報

混触禁止物質

強酸
強塩基
活性剤
還元剤
重金属類を含む固体塩およびソリューション

第6項: 応急措置

眼に入った場合

直ちに大量の水で洗浄する
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
痛みや発赤が続く場合は医師の診察を受けて下さい。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
医師の診断/手当てを受けること。
無理に吐かせてはいけない。
直ちに医師の診察を受ける。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
新鮮な空気を吸入させて。
被災者を休息させて下さい。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
多量の水で洗うこと。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

応急措置 一般

汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
被災者に意識がない場合は、口から何も与えないで下さい。
気分が悪い場合は医師の診察を受けて下さい。可能であれば絵表示を見せて下さい。

症状/損傷 眼に入った場合

重度の刺激を起こすことがある。

症状/損傷 皮膚に付着した場合

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

その他の医学的アドバイスまたは治療

対症的に治療すること。

第7項: 火災時の措置

消火方法

水噴霧や霧水で熱にさらされた容器を冷却して下さい。
化学物質の消火活動は慎重に行ってください。
消火に使用した水が下水道や公共用水域に流出しないようにする

消火時の保護具

自給式呼吸器
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らないで下さい。

火災時の危険有害性分解生成物

熱分解により次のものを生成する
二酸化炭素
一酸化炭素

HUS4-MAX

2成分製品の安全性情報

第8項: その他の情報

データなし

HUS4-MAX, B

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 2022年06月22日

改訂日: 2022年06月22日

前回の改訂日:

バージョン:1.0

1. 化学品及び会社情報

製品情報	混合物
化学品の名称	HUS4-MAX, B
製品コード	BU Anchor

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	カプセル方式接着系アンカー。 当該製品は、接着系あと工アンカーの用途として使用下さい。
使用上の制限	業務用用途に限る。

会社情報

仕入先	安全データシート発行部門
日本ヒルティ株式会社	Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH
〒224-8550 日本〒	86916 DeutschlandKaufering
神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南2-6-20	Hiltistraße 6
T +81 45 943 6211 - F +81 45 943 6418	T +49 8191 906876
hiltijapan@hilti.com	anchor.hse@hilti.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号	Schweizerisches Toxikologisches Informationszentrum – 24h Service +41 44 251 51 51 (international) +81 45 943 6211
----------	--

2. 危険有害性の要約

物質/混合物の分類

GHS分類

物理的危険性	有機過酸化物	タイプB
健康有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
	皮膚感作性	区分1

HUS4-MAX, B

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

環境有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分1
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分1

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



GHS02



GHS07



GHS09

注意喚起語 (GHS JP)

警告

危険有害性 (GHS JP)

熱すると火災のおそれ (H242)
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)
強い眼刺激 (H319)
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性 (H410)

注意書き (GHS JP)

安全対策

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源 から遠ざけること。－禁煙。(P210)
保護眼鏡, 保護服, 適切な保護手袋 を着用すること。(P280)
眼、皮膚、衣類につけないこと。(P262)

応急措置

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。(P302+P352)
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。(P333+P313)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名	Adhesive Capsule HUS4-MAX, B
一般名	HUS4, B

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号	CAS 番号
----	--------	-----	----------	--------

HUS4-MAX, B

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

			化審法番号	安衛法番号	
水	60 - 80	H2O	-	-	7732-18-5
過酸化ベンゾイル	10 - 25	C14H10O4	(3)-1349	既存化学物質	94-36-0

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般	<p>汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。</p> <p>被災者に意識がない場合は、口から何も与えないで下さい。</p> <p>気分が悪い場合は医師の診察を受けて下さい。可能であれば絵表示を見せて下さい。</p>
吸入した場合	<p>空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>新鮮な空気を吸入させて。</p> <p>被災者を休息させて下さい。</p>
皮膚に付着した場合	<p>汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。</p> <p>多量の水で洗うこと。</p> <p>皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。</p>
眼に入った場合	<p>直ちに大量の水で洗浄する。</p> <p>コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>・</p> <p>眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。</p>
飲み込んだ場合	<p>飲み込んだ場合、直ちに医師の診察を受け、容器もしくはラベルを見せる。</p>
応急措置をする者の保護	<p>不必要なばく露を避ける。</p>

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 皮膚に付着した場合	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
症状/損傷 眼に入った場合	強い眼刺激。

その他の医学的アドバイスまたは治療

その他の医学的アドバイスまたは治療	対症的に治療すること。
-------------------	-------------

5. 火災時の措置

HUS4-MAX, B

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

適切な消火剤	水噴霧, 二酸化炭素, 乾燥粉末消火剤, 耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤	強い水流は使用しないで下さい。
火災危険性	May form flammable vapour-air mixtures. May decompose violently at elevated temperatures or in a fire. Burns vigorously. Insoluble in water. Contact with alkalis or acids may cause dangerous decomposition. The products of combustion or self-accelerating decomposition may be toxic by inhalation. 水面に浮き、水面に再燃することがある。
爆発の危険	蒸気は空気と爆発性混合物を形成する。
火災時の反応性	分解生成物は健康に対して危険有害性であることがある。
火災時の危険有害性分解生成物	加熱もしくは火災の際に有毒ガスを発生する可能性あり, 腐食性蒸気, 熱分解は、刺激性ガスおよび蒸気の放出の原因となることがある
消火方法	水噴霧や霧水で熱にさらされた容器を冷却して下さい。 化学物質の消火活動は慎重に行ってください。
消火時の保護具	消火に使用した水が下水道や公共用水域に流出しないようにする。 自給式呼吸器。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らないで下さい。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	漏出物質により滑る危険がある。
非緊急対応者	
保護具	推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	不要な人員を退避させて下さい。 炎や火花の禁止発火源をすべて断ってください。 蒸気/爆発性気体の混合が形成されることがある。
緊急対応者	
保護具	指定された個人用保護具を使用すること。 清掃人員に適切な保護具を支給して下さい。

HUS4-MAX, B

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

応急処置 漏出した場所を換気する。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 下水道や公共用水域への侵入を防いで下さい。
液体が下水道や公共用水域に流入した場合、行政に通知して下さい。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 漏出物を回収すること。

浄化方法 可能であればリスクなく漏出をせき止める。
火花の出ない工具を使用する。
Absorb and/or contain spill with inert material, then place in suitable container.
本物質およびその容器は各自自治体の規定に準拠して安全に廃棄して下さい。

その他の情報 物質または固形残留物は公認廃棄物処理施設で廃棄して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 個人用保護具を着用して下さい。
皮膚、眼との接触を避けて下さい。
粉じん, 蒸気 の吸入を避けること。
飲食前、喫煙前、または作業終了後は、手および汚染箇所を低刺激性石鹸と水で洗浄する。
作業エリアでは十分な換気を行い蒸気の発生を予防して下さい。
静電気の発生を防止する。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙。

衛生対策 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗って下さい。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件 容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。

HUS4-MAX, B

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

<p>技術的対策</p> <p>混触禁止物質</p> <p>熱及び発火源</p> <p>保管温度</p>	<p>次のものとの接触を避ける：空気。</p> <p>他の物質から離して保管すること。</p> <p>有効期限を点検する：ご購入時の梱包（梱包用小箱）およびカプセルに記載されている有効期限を点検してください。有効期限が経過した製品は使用しないでください。</p> <p>適用法令を遵守する。</p> <p>強酸、強塩基、活性剤、還元剤、重金属類を含む固体塩およびソリューション。</p> <p>熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。</p> <p>-20 – 25 °C</p>
--	---

8. ばく露防止及び保護措置

過酸化ベンゾイル (94-36-0)	
日本 - ばく露限界値	
許容濃度 (ACGIH)	TWA 5 mg/m ³ , STEL -

設備対策 十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具 保護メガネ, 手袋, 防護服, 不必要なばく露を避ける。

手の保護具 適切な保護手袋 を着用すること,
浸透時間は衣類を着ていられる最大時間ではありません！一般にはこの時間より短く設定する。混合物、または異なる物質との接触により、保護機能の有効期間が短くなる可能性があります

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR)	6 (> 480分)	0,12		EN ISO 374

眼の保護具 安全眼鏡を着用し飛沫が眼に入るのを防ぐ。

タイプ	適用分野	特徴	規格
保護メガネ	ドロップレット	透明色	EN 166 EN 170

皮膚及び身体の保護具 長袖防護服

HUS4-MAX, B

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

個人用保護具シンボル



環境へのばく露の制限と監視

環境への放出を避けること。

消費者のばく露の制限および監視

妊娠中／授乳期中は接触を避けること。

その他の情報

使用中は飲食かつ喫煙を避けて下さい。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	白色
臭い	特異臭
pH	約 7
融点	データなし
凝固点	データなし
沸点	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
可燃性	データなし
蒸気圧	23.4 hPa
相対密度	データなし
密度	1.03 g/cm ³
相対ガス密度	データなし
溶解度	水に溶けない。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	データなし
爆発特性	本製品は爆発性ではない。
	本製品は爆発性ではない。

HUS4-MAX, B

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

爆発限界 (vol %)	データなし
粘性率:	200 mPa.s
動粘性率:	0 mm ² /s
SADT	70 °C
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	Stable under recommended handling and storage conditions (see section 7).
化学的安定性	通常の条件下では安定. Stable under recommended handling and storage conditions (see section 7).
危険有害反応可能性	空気と爆発性混合物を形成することがある.
避けるべき条件	May decompose violently at elevated temperatures or in a fire. Burns vigorously. Insoluble in water. Contact with alkalis or acids may cause dangerous decomposition. The products of combustion or self-accelerating decomposition may be toxic by inhalation. 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙.
混触危険物質	強酸. 強塩基. 活性剤. 還元剤. 重金属類を含む固体塩およびソリューション.
危険有害な分解生成物	有毒かつ腐食性のガスを放出する. 有毒かつ腐食性のヒュームを放出する.

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	データなし
急性毒性 (経皮)	データなし
急性毒性 (吸入)	データなし

過酸化ベンゾイル (94-36-0)	
急性毒性 (経口)	ラットのLD50 > 5,000 mg/kg (SIDS (2004)) に基づき、区分外とした。
急性毒性 (経皮)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:気体)	GHSの定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHSの定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉末)	ラットLC0 > 24.3 mg/L (換算値: 19.0 mg/L) (SIDS (2004)) に基づき、区分外とした。

HUS4-MAX, B

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

皮膚腐食性／刺激性

データなし

HUS4-MAX, B	
pH	約 7

過酸化ベンゾイル (94-36-0)	
皮膚腐食性／刺激性	皮膚に対し、「軽度の刺激性」又は「刺激性なし」のデータがあり、結論「極く軽度の皮膚刺激性物質」としている（SIDS（2004））ため、本物質には軽微ないし軽度の刺激性があると考えられ、JIS 分類基準の区分外（国連分類基準の区分3）とした。分類ガイダンスの改訂に従い、「JIS 分類基準の区分外（国連分類基準の区分3）」を明記した。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

強い眼刺激

HUS4-MAX, B	
pH	約 7

過酸化ベンゾイル (94-36-0)	
眼に対する重篤な損傷又は刺激性	ウサギの眼に適用後、24, 48, 72時間後に刺激性が認められた（SIDS（2004））が、試験又は試験方法によって刺激性の程度に差が認められた。さらに、本物質は、EU DSD分類において「Xi; R36」、EU CLP分類において「Eye Irrit. 2 H319」に分類されている。以上の情報に基づき区分2とした。なお、細区分の情報（ウサギのドレイズ法またはヒトでの知見が軽微で7日以内に回復することを示す情報）が得られなかったため「区分2」に変更した。

呼吸器感受性

データなし

皮膚感受性

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

過酸化ベンゾイル (94-36-0)	
呼吸器感受性	データ不足のため分類できない。
皮膚感受性	ヒトのマキシマイゼーション試験の結果、及び職業ばく露による疫学的研究で皮膚感受性が確認されている（SIDS（2004））。産衛学会勧告（2012）では皮膚感受性第2群物質、日本職業・環境アレルギー学会特設委員会（2004）の日本職業・環境アレルギー学会リストには皮膚感受性物質として掲載されている。さらに、本物質は、EU DSD分類において「R43」、EU CLP分類において「Skin Sens. 1 H317」に分類されている。以上の情報に基づき区分1とした。

生殖細胞変異原性

データなし

HUS4-MAX, B

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

過酸化ベンゾイル (94-36-0)	
生殖細胞変異原性	分類ガイダンスの改訂により「区分外」が選択できなくなったため、「分類できない」とした。すなわち、In vivoでは、マウスを用いる優性致死試験 (SIDS (2004)、IARC 71 (1999)、JECFA (2006))、マウスの赤血球を用いる小核試験 (SIDS (2004)) で陰性である。さらに、in vitroでは、細菌の復帰突然変異試験 (SIDS (2004)、JECFA (2006)、NTP DB (Access on June 2013)) 及び哺乳類培養細胞を用いる染色体異常試験 (SIDS (2004)、JECFA (2006)、IARC 71 (1999)) で陰性である。

発がん性 データなし

過酸化ベンゾイル (94-36-0)	
発がん性	IARC (1999) でグループ3、ACGIH (7th, 2001) でA4に分類しているため、分類できないとした。分類ガイダンスの改訂による区分の変更と情報の追加をした。
IARC グループ	分類できない

生殖毒性 データなし

過酸化ベンゾイル (94-36-0)	
生殖毒性	ラットの経口投与による生殖発生毒性スクリーニング試験 (OECD TG 422) において、雄親動物に生殖器官重量の減少及び精巢の軽度変性がみられたが、生殖能 (交配、妊娠) に影響はなく、児動物に最小限の発生影響 (矮小児の頻度増加、体重増加抑制) が見られた (SIDS (2004)) との記述がある。しかし、スクリーニング試験結果からは区分外に分類できず、データ不足のため分類できないとした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) データなし

過酸化ベンゾイル (94-36-0)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ヒトの鼻、喉への刺激性ありとの記述 (ACGIH (7th, 2001)) に基づき、区分3 (気道刺激性) とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) データなし

HUS4-MAX, B

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

過酸化ベンゾイル (94-36-0)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットの強制経口投与試験 (OECD TG 422) において、区分2のガイダンス値範囲を超える用量 (1,000 mg/kg/day) で雌雄の生殖器官に影響がみられた (SIDS (2004)) との記述から、経口経路では区分外に相当するが、他の経路ではデータがなく、データ不足のため分類できないとした。

誤えん有害性

データなし

HUS4-MAX, B	
動粘性率	0 mm ² /s

過酸化ベンゾイル (94-36-0)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
動粘性率	No data available (test not performed)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性)

水生生物に非常に強い毒性

水生環境有害性 長期 (慢性)

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

過酸化ベンゾイル (94-36-0)	
水生環境有害性 短期 (急性)	甲殻類 (オオミジンコ) による48時間EC50=0.07 mg/L (SIDS, 2004) であることから、区分1とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	信頼性のある慢性毒性データが得られていない。急速分解性があり (28日でのBOD分解度=84% (既存点検, 1981))、急性毒性は区分1であるが、生物濃縮性が低いと推測される (LogPow=3.46 (HS DB, 2013)) ことから、区分外とした。
LC50 - 魚 [2]	0.0602 mg/l (96h; ニジマス; 欧州化学機関)
EC50 - 甲殻類 [1]	0.11 mg/l (OECD 202: Daphnia sp. Acute Immobilisation Test, 48 h, Daphnia magna, Static system, Fresh water, Experimental value, GLP)
ErC50 藻類	0.0711 mg/l (OECD 201: Alga, Growth Inhibition Test, 72 h, Pseudokirchneriella subcapitata, Static system, Fresh water, Experimental value, GLP)
NOEC (急性)	0.0316 mg/l (96h; ニジマス; 欧州化学機関)
NOEC 魚 慢性	0.001 mg/l

HUS4-MAX, B

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

過酸化ベンゾイル (94-36-0)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.71 (構造活性相関; 3.2; 実験値; 経済協力開発機構 117: 分配係数 (n-オクタール/水), 高速液体クロマトグラフィー法; 22 °C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	3.8 (log Koc, OECD 121: Estimation of the Adsorption Coefficient (Koc) on Soil and on Sewage Sludge using High Performance Liquid Chromatography (HPLC), Experimental value)

残留性・分解性

HUS4-MAX, B	
残留性・分解性	データなし

過酸化ベンゾイル (94-36-0)	
残留性・分解性	水に易生分解性がある。決定していない。環境中で長期にわたり悪影響を及ぼすことがある。

生体蓄積性

HUS4-MAX, B	
生体蓄積性	データなし

過酸化ベンゾイル (94-36-0)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.71 (構造活性相関; 3.2; 実験値; 経済協力開発機構 117: 分配係数 (n-オクタール/水), 高速液体クロマトグラフィー法; 22 °C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	3.8 (log Koc, OECD 121: Estimation of the Adsorption Coefficient (Koc) on Soil and on Sewage Sludge using High Performance Liquid Chromatography (HPLC), Experimental value)
生体蓄積性	生体蓄積性の可能性は低い (Log Kow (オクタノール) < 4).

土壌中の移動性

HUS4-MAX, B	
土壌中の移動性	データなし

過酸化ベンゾイル (94-36-0)	
表面張力	No data available (test not performed)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.71 (構造活性相関; 3.2; 実験値; 経済協力開発機構 117: 分配係数 (n-オクタール/水), 高速液体クロマトグラフィー法; 22 °C)

HUS4-MAX, B

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

過酸化ベンゾイル (94-36-0)	
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	3.8 (log Koc, OECD 121: Estimation of the Adsorption Coefficient (Koc) on Soil and on Sewage Sludge using High Performance Liquid Chromatography (HPLC), Experimental value)
生態系 - 土壌	Low potential for mobility in soil.

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性	データなし
その他の有害な影響	追加情報なし

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	硬化後の樹脂は、家庭ごみとして廃棄が可能。 完全使用済みまたは使用中のカートリッジは、産業廃棄物として行政の指示に従って処分されなければならない。
残余廃棄物	製品によって汚染された包装：国、地域の規制に準拠して廃棄すること。 環境への放出を避けること。
地域の廃棄規則	管轄当局の規制に準拠して廃棄すること。

14. 輸送上の注意

ADR / IMDG / IATA / RIDに準ずる

ADR	IMDG	IATA	RID
14.1. 国連番号またはID番号			
UN 3109	UN 3109	UN 3109	UN 3109
14.2. 国連正式品名			
有機過酸化物F (液体) (過酸化ベンゾイル)	ORGANIC PEROXIDE TYPE F, LIQUID (dibenzoyl peroxide)	Organic peroxide type f, liquid (dibenzoyl peroxide)	有機過酸化物F (液体) (過酸化ベンゾイル)

HUS4-MAX, B

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

ADR	IMDG	IATA	RID
輸送資料詳細			
UN 3109 有機過酸化物F（液体） （過酸化ベンゾイル）, 5.2, (D), 環境に対して危険有害性	UN 3109 ORGANIC PEROXIDE TYPE F, LIQUID (dibenzoyl peroxide), 5.2, MARINE POLLUTANT/ENVIRONMENTAL LY HAZARDOUS	UN 3109 Organic peroxide type f, liquid (dibenzoyl peroxide), 5.2, ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS	UN 3109 有機過酸化物F（液体） （過酸化ベンゾイル）, 5.2, 環境に対して危険有害性
14.3. 輸送危険物分類			
5.2	5.2	5.2	5.2
14.4. 容器等級			
非該当	非該当	非該当	非該当
14.5. 環境有害性			
環境有害性: はい	環境有害性: はい 海洋汚染物質: はい	環境有害性: はい	環境有害性: はい
補足情報なし			

14.6. 使用者向け特別な安全対策

道路輸送

分類コード (ADR)	P1
特別規定(ADR)	122, 274
少量危険物(ADR)	125ml
包装要件(ADR)	P520, IBC520
混合物包装規定 (ADR)	MP4
輸送カテゴリー	2
オレンジプラカード	



HUS4-MAX, B

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

トンネル制限コード (ADR)	D
海上輸送	
特別規定 (IMDG)	122, 274
包装要件(IMDG)	P520
緊急時計画番号(火災)	F-J
緊急時計画番号(流出)	S-R
積載区分 (IMDG)	D
積載および取り扱い(IMDG)	SW1
隔離(IMDG)	SG35, SG36, SG72

航空輸送	
PCA包装要件(IATA)	570
特別管制区(PCA)最大積載量(IATA)	10L
CAO包装要件(IATA)	570
特別規定(IATA)	A20, A150, A802

鉄道輸送	
特別規定(RID)	122, 274
包装要件(RID)	P520, IBC520

14.7. IMO規定に基づくバルク輸送

非該当

国内規制

その他の情報 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法 危険物・爆発性の物（施行令別表第1第1号）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2

HUS4-MAX, A

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 2022年06月22日

改訂日: 2022年06月22日

前回の改訂日:

バージョン:1.0

1. 化学品及び会社情報

製品情報	混合物
化学品の名称	HUS4-MAX, A
製品コード	BU Anchor

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	カプセル方式接着系アンカー。 当該製品は、接着系あと工アンカーの用途として使用下さい。
使用上の制限	業務用用途に限る。

会社情報

仕入先	安全データシート発行部門
日本ヒルティ株式会社	Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH
〒224-8550 日本〒	86916 DeutschlandKaufering
神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南2-6-20	Hiltistraße 6
T +81 45 943 6211 - F +81 45 943 6418	T +49 8191 906876
hiltijapan@hilti.com	anchor.hse@hilti.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号	Schweizerisches Toxikologisches Informationszentrum – 24h Service +41 44 251 51 51 (international) +81 45 943 6211
----------	--

2. 危険有害性の要約

物質/混合物の分類

GHS分類

健康有害性	急性毒性 (経口)	区分4
	皮膚感作性	区分1

HUS4-MAX, A

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



GHS07

注意喚起語 (GHS JP)

警告

危険有害性 (GHS JP)

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)

注意書き (GHS JP)

安全対策

保護眼鏡, 保護服, 適切な保護手袋 を着用すること。 (P280)

眼、皮膚、衣類につけないこと。 (P262)

応急措置

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 (P305+P351+P338)

皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。 (P333+P313)

眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。 (P337+P313)

皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。 (P302+P352)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名

Adhesive Capsule HUS4-MAX, A

一般名

HUS4, A

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
ジメタクリル酸= 1, 4-ブタンジイル	60 - 80	C12H18O4	(2)-958,(2)-1059	既存化学物質	2082-81-7
UMA 121	25 - 40	-	-	-	184246-80-8
1,1'-(p-トリルイミノ)ジプロパン-2-	1 - 2.5	C13H21NO 2	-	-	38668-48-3

HUS4-MAX, A

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

オール					
2-メチル-2-プロパン酸・1,2-プロパンジオールのモノエステル	0.1 - 1	C7H12O3	(2)-958,(2)-1044	既存化学物質	27813-02-1
4-tert-ブチルピロカテコール	0.1 - 1	C10H14O2	(3)-548	既存化学物質	98-29-3

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般

汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。

被災者に意識がない場合は、口から何も与えないで下さい。

気分が悪い場合は医師の診察を受けて下さい。可能であれば絵表示を見せて下さい。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

新鮮な空気を吸入させて。

被災者を休息させて下さい。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

多量の水で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合

直ちに大量の水で洗浄する。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

痛みや発赤が続く場合は医師の診察を受けて下さい。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

医師の診断／手当てを受けること。

無理に吐かせてはいけない。

直ちに医師の診察を受ける。

応急措置をする者の保護

不必要なばく露を避ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 皮膚に付着した場合

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

症状/損傷 眼に入った場合

重度の刺激を起こすことがある。

HUS4-MAX, A

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

その他の医学的アドバイスまたは治療

その他の医学的アドバイスまたは治療 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧, 二酸化炭素, 乾燥粉末消火剤, 泡消火剤, 砂
使ってはならない消火剤	強い水流は使用しないで下さい。
火災時の危険有害性分解生成物	熱分解により次のものを生成する, 二酸化炭素, 一酸化炭素
消火方法	水噴霧や霧水で熱にさらされた容器を冷却して下さい。 化学物質の消火活動は慎重に行ってください。 消火に使用した水が下水道や公共水域に流出しないようにする。
消火時の保護具	自給式呼吸器。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らないで下さい。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	漏出物質により滑る危険がある。
非緊急対応者	
応急処置	不要な人員を退避させて下さい。
緊急対応者	
保護具	指定された個人用保護具を使用すること。 清掃人員に適切な保護具を支給して下さい。
応急処置	漏出した場所を換気する。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	下水道や公共水域への侵入を防いで下さい。 液体が下水道や公共水域に流入した場合、行政に通知して下さい。
------------	--

HUS4-MAX, A

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	漏出物を回収すること。
浄化方法	本物質およびその容器は各自治体の規定に準拠して安全に廃棄して下さい。 製品は機械的に回収して下さい。 他の物質から離して保管すること。
その他の情報	物質または固形残留物は公認廃棄物処理施設で廃棄して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	個人用保護具を着用して下さい。 皮膚、眼との接触を避けて下さい。 飲食前、喫煙前、または作業終了後は、手および汚染箇所を低刺激性石鹸と水で洗浄する。 作業エリアでは十分な換気を行い蒸気の発生を予防して下さい。
衛生対策	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗って下さい。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件	涼しいところに置き、日光から遮断すること。 有効期限を点検する：ご購入時の梱包（梱包用小箱）およびカプセルに記載されている有効期限を点検してください。有効期限が経過した製品は使用しないでください。
混触禁止製品	強塩基、強酸。
混触禁止物質	発火源、直射日光。
熱及び発火源	高温、直射日光を避ける。
保管温度	-20 - 25 °C

8. ばく露防止及び保護措置

HUS4-MAX, A

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

設備対策 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具 保護メガネ, 手袋, 防護服, 不必要なばく露を避ける。

手の保護具 適切な保護手袋 を着用すること,
浸透時間は衣類を着ていられる最大時間ではありません！一般にはこの時間より短く設定する。混合物、または異なる物質との接触により、保護機能の有効期間が短くなる可能性があります

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR)	6 (> 480分)	0,12		EN ISO 374

眼の保護具 安全眼鏡を着用し飛沫が眼に入るのを防ぐ。

タイプ	適用分野	特徴	規格
保護メガネ	ドロップレット	透明色	EN 166 EN 170

皮膚及び身体の保護具 長袖防護服

個人用保護具シンボル



環境へのばく露の制限と監視 環境への放出を避けること。

消費者のばく露の制限および監視 妊娠中／授乳期中は接触を避けること。

その他の情報 使用中は飲食かつ喫煙を避けて下さい。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 液体
色 淡黄色
臭い 特異臭

HUS4-MAX, A

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

pH	5.7
融点	データなし
凝固点	データなし
沸点	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
可燃性	データなし
蒸気圧	データなし
相対密度	データなし
密度	1.09 g/cm ³
相対ガス密度	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	データなし
爆発限界 (vol %)	データなし
粘性率:	175 mPa.s
動粘性率:	160.55 mm ² /s
SADT	過酸化ベンゾイル
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	通常の条件下では安定.
危険有害反応可能性	追加情報なし.
避けるべき条件	直射日光, 極度に高温または低温.
混触危険物質	強酸, 強塩基.
危険有害な分解生成物	煙霧, 一酸化炭素, 二酸化炭素. 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されません.

11. 有害性情報

HUS4-MAX, A

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

HUS4-MAX, A	
動粘性率	160.55 mm ² /s
2-メチル-2-プロペン酸・1,2-プロパンジオールのモノエステル (27813-02-1)	
動粘性率	8.88 mm ² /s (20 °C, OECD 114: Viscosity of Liquids)
4-tert-ブチルピロカテコール (98-29-3)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
動粘性率	Not applicable (solid)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性)	データなし
水生環境有害性 長期 (慢性)	データなし

ジメタクリル酸= 1, 4-ブタンジイル (2082-81-7)	
LC50 - 他の水生生物 [1]	9.79 mg/l
NOEC (急性)	7.51 mg/l
NOEC (慢性)	20 mg/l
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.1
UMA 121 (184246-80-8)	
LC50 - 魚 [1]	493 mg/l
EC50 - 甲殻類 [1]	143 mg/l
1,1'-(p-トリルイミノ)ジプロパン-2-オール (38668-48-3)	
LC50 - 魚 [1]	約 17 mg/l
LC50 - 他の水生生物 [1]	245 mg/l
EC50 - 甲殻類 [1]	28.8 mg/l
NOEC (急性)	57.8 mg/l
n-オクタノール/水分配係数 (Log Kow)	2.1
2-メチル-2-プロペン酸・1,2-プロパンジオールのモノエステル (27813-02-1)	
LC50 - 魚 [1]	493 mg/l (48 h; ゼブラフィッシュ, 致死量, 試験実施適正基準)
EC50 - 甲殻類 [1]	> 143 mg/l (48 h; オオミジンコ; 試験実施適正基準)

HUS4-MAX, A

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

2-メチル-2-プロペン酸・1,2-プロパンジオールのモノエステル (27813-02-1)	
ErC50 藻類	97.2 mg/l (OECD 201: Alga, Growth Inhibition Test, 72 h, Pseudokirchneriella subcapitata, Static system, Fresh water, Experimental value, GLP)
BCF - 魚 [1]	≤ 100
BCF - 魚 [2]	3.2 定量的構造活性相関(QSAR)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.97 (OECD 102: 溶解点/溶解区間)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1.9 (log Koc, Calculated value)
しきい値 - 藻類 [1]	> 97.2 mg/l (72 h; プセウドキルクネリエラ (藻類) ; 試験実施適正基準)
しきい値 - 藻類 [2]	> 97.2 mg/l (72 h; プセウドキルクネリエラ (藻類) ; 試験実施適正基準)

4-tert-ブチルピロカテコール (98-29-3)	
水生環境有害性 短期 (急性)	データなし
水生環境有害性 長期 (慢性)	データなし
LC50 - 魚 [1]	0.12 mg/l (96 h, Danio rerio, Lethal, ECHA)
ErC50 藻類	10.17 mg/l (OECD 201: Alga, Growth Inhibition Test, 72 h, Pseudokirchneriella subcapitata, Static system, Fresh water, Experimental value, GLP)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	1.98 (Experimental value, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 25 °C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1.37 (log Koc, OECD 121: Estimation of the Adsorption Coefficient (Koc) on Soil and on Sewage Sludge using High Performance Liquid Chromatography (HPLC), Experimental value, GLP)

残留性・分解性

HUS4-MAX, A	
残留性・分解性	データなし

ジメタクリル酸 = 1, 4 -ブタンジイル (2082-81-7)	
急速分解性でない	
生分解性	84 %

UMA 121 (184246-80-8)	
残留性・分解性	決定していない。

2-メチル-2-プロペン酸・1,2-プロパンジオールのモノエステル (27813-02-1)	
急速分解性でない	
残留性・分解性	水に易生分解性がある。

HUS4-MAX, A

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

4-tert-ブチルピロカテコール (98-29-3)	
急速分解性でない	
残留性・分解性	Not readily biodegradable in water.
ThOD	2.4 g O ₂ /g substance

生体蓄積性

HUS4-MAX, A	
生体蓄積性	データなし

ジメタクリル酸 = 1, 4 -ブタンジイル (2082-81-7)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.1

UMA 121 (184246-80-8)	
生体蓄積性	決定していない。

1,1'-(p-トリルイミノ)ジプロパン-2-オール (38668-48-3)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Kow)	2.1

2-メチル-2-プロペン酸・1,2-プロパンジオールのモノエステル (27813-02-1)	
BCF - 魚 [1]	≤ 100
BCF - 魚 [2]	3.2 定量的構造活性相関(QSAR)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.97 (OECD 102: 溶解点/溶解区間)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1.9 (log Koc, Calculated value)
生体蓄積性	生体蓄積性の可能性は低い。(BCF < 500).

4-tert-ブチルピロカテコール (98-29-3)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	1.98 (Experimental value, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 25 °C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1.37 (log Koc, OECD 121: Estimation of the Adsorption Coefficient (Koc) on Soil and on Sewage Sludge using High Performance Liquid Chromatography (HPLC), Experimental value, GLP)
生体蓄積性	Low potential for bioaccumulation (Log Kow < 4).

土壌中の移動性

HUS4-MAX, A	
土壌中の移動性	データなし

HUS4-MAX, A

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

ジメタクリル酸 = 1, 4 -ブタンジイル (2082-81-7)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.1
1,1'-(p-トリルイミノ)ジプロパン-2-オール (38668-48-3)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Kow)	2.1
2-メチル-2-プロペン酸・1,2-プロパンジオールのモノエステル (27813-02-1)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.97 (OECD 102: 溶解点/溶解区間)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1.9 (log Koc, Calculated value)
生態系 - 土壌	Highly mobile in soil.
4-tert-ブチルピロカテコール (98-29-3)	
表面張力	No data available (test not performed)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	1.98 (Experimental value, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 25 °C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	1.37 (log Koc, OECD 121: Estimation of the Adsorption Coefficient (Koc) on Soil and on Sewage Sludge using High Performance Liquid Chromatography (HPLC), Experimental value, GLP)
生態系 - 土壌	Highly mobile in soil.

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性	データなし
その他の有害な影響	追加情報なし

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	硬化後の樹脂は、家庭ごみとして廃棄が可能。 . 完全使用済みまたは使用中のカートリッジは、産業廃棄物として行政の指示に従って処分されなければならない。
残余廃棄物	製品によって汚染された包装：国、地域の規制に準拠して廃棄すること。
地域の廃棄規則	環境への放出を避けること。 管轄当局の規制に準拠して廃棄すること。

14. 輸送上の注意

HUS4-MAX, A

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

ADR / IMDG / IATA / RIDに準ずる

ADR	IMDG	IATA	RID
14.1. 国連番号またはID番号			
規制されていない	規制されていない	規制されていない	規制されていない
14.2. 国連正式品名			
規制されていない	規制されていない	規制されていない	規制されていない
14.3. 輸送危険物分類			
規制されていない	規制されていない	規制されていない	規制されていない
14.4. 容器等級			
規制されていない	規制されていない	規制されていない	規制されていない
14.5. 環境有害性			
規制されていない	規制されていない	規制されていない	規制されていない
補足情報なし			

14.6. 使用者向け特別な安全対策

道路輸送

規制されていない

海上輸送

規制されていない

航空輸送

規制されていない

鉄道輸送

規制されていない

14.7. IMO規定に基づくバルク輸送

非該当

HUS4-MAX, A

安全データシート

JIS Z 7253 : 2019に準拠

国内規制

その他の情報 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） シリカ（政令番号：312）（5%未満）
消防法	第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体（法第2条第7項危険物別表第1）
海洋汚染防止法	有害でないものとして指定する物質（環境省告示第148号第4号）
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
じん肺法	法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業

16. その他の情報

その他の情報 なし。

SDS_JP_Hilti

本書は、あくまで本製品の健康、安全性、環境への配慮等に関わる情報のみを、現在の知見に基づき記載するものであり、製品に関する何らかの特性を保証するものではない。